



ゆめに向かう『やる気』ゆめをかなえる『本気』何度でもやり直す『根気』

輝け！口石っ子 佐々町立口石小学校 学校便り

令和3年11月15日 23号 文責 校長 岩下裕之介

修学旅行

新型コロナウイルス感染症対策の為に1か月延期となりましたが、11月9日（火）～10日（水）、一泊二日の日程で修学旅行を実施しました。今回の修学旅行の目的は以下の4つです。

- ① 佐々町にないものを見たり知ったりするため。
- ② 集団での行動について考える力をつけるため。
- ③ 学校で学んだことを生かせるか試すため。
- ④ 支えて下さっている人への感謝の気持ちをもつため。

9日、在校生や先生方の盛大なお見送りを受け、最初の目的地であるバイオパークに向けて出発しました。



右の写真のように、子どもたちは事前に見学地の情報を調べ、自分たちでパンフレットを作りました。バイオパークのコンセプトは「見ているだけではつまらない！遊んで、学んで、ふれあっ

て」です。バイオパークのコンセプト通り、子どもたちは園内のいたる所で動物とふれあうことができました。事前にエリアごとにバイオパークで出会える動物たちをピックアップしている子もいて、「この動物には必ず会おう！」という思いをもって楽しんでいました。



次の目的地は、長崎ビックNスタジアムです。25000人が入る人気の球場で、東京ドームと同じ人工芝のグラウンドを見ながら、お家の人が用意して下さった弁当をありがたくいただきました。

昼食の後は、平和公園で平和集会を行いました。口石小学校の全校みんなの思いを込めた千羽鶴を献鶴しました。悲惨な戦争を二度と繰り返さないという誓いと、世界平和への願いが込められた平和祈念像を見ながら、原爆犠牲者のご冥福を祈りました。



平和学習の後は、アミュプラザに移動して班別自主研修を行いました。子どもたちはグルー

プの仲間と協力し、お土産選びも楽しみながら活動していました。ここでは、クーポン券も利用できるということで、明日のお買い物とのバランスを考えながら行動していました。

その後は、宿泊地の島原市へ向かいます。バスの中はガイドさんによる平和学習の復習をした後に、修学旅行のために自分たちで作ったCDを聞きながら、あっという間にホテルに到着しました。夕食時には、島原名物の豪華な夕食を堪能し、その後は、ホテル自慢の温泉にもつかり、各部屋での友達とおしゃべりを楽しみ、1日目が無事終了しました。

2日目、最初の見学地は「島原城」です。キリスト教の歴史コーナー、土地の歴史、郷土資料、武器類、祭りの資料などを見学しながらお城を回り、天守閣から島原市の絶景を楽しみました。また、お隣の西望記念館では、平和祈念像で有名な北村西望氏の作品を見ることもできました。



次の見学地は「みずなし本陣ふかえ」です。ここでは、館内施設の見学をした後に、昼食を取りました。最後のお土産購入ポイントでもありましたので、クーポン券を利用しながら買い物を楽しみました。

次の見学地は「島原災害記念館（がまだすドーム）」です。雲仙普賢岳噴火による、火砕流や土石流の体験、島原半島の成り立ちの紹介、地球の力や雲仙火山を楽しみ、感じ、学ぶ体験ゾーンなど、改めて被害の大きさを実感するとともに復興への道を学ぶことができました。



午後は、「島原鉄道乗車体験」です。2両貸し切りで、島原駅から乗車しました。黄色い列車は、雲仙普賢岳災害からの復興を願い希望や大地の豊かな恵みをイメージした色ということで、列車に込められた思いを感じながら車窓を楽しみます。途中には、日本一海に近い駅と言われる大三東駅や黄色いハンカチも見えました。屋根も柵もない開放的なホームに、足元から広がる一面の穏やかな有明海の景色を、子どもたちは目に焼き付けていました。ちなみに、有明海は干満の差が日本一大きい海でもあるそうです。こうしたたくさんの思い出を心に刻み込んで口石小学校に戻ってきました。

子どもたちは、どの見学地においても、担当班による自主運営を行い、その態度・内容ともに素晴らしかったです。修学旅行の4つのめあてや事前学習による目的を意識した行動を、いろいろな場面で見せてくれたので、雨は降りましたが、晴れやかな気持ちになりました。流石は口石小学校のリーダーだと改めて感動したところです。

最後になりますが、保護者の皆さまには、子どもたちの健康管理や事前の準備、様々な面で修学旅行を支えていただき本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。



